

氏名 内 藤 紘 彦

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 749 号

学位授与の日付 昭和 51 年 3 月 31 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 ウイルス性肝炎流行地における HB 抗原陽性者の疫学及び臨床的研究
第 1 編 疫 学 調 査
第 2 編 追跡調査と臨床的研究

学位審査委員 教授 大 藤 眞 教授 平 木 潔 教授 俵 寿太郎

学位論文内容の要旨

岡山県下のウイルス性肝炎の特徴を知る目的で過去に多発した流行地の中から 2 地区（赤磐郡熊山町地区，備前市香登地区）と対照地区として，アルコール多飲で知られる高知県安芸市地区を選んで HB 抗原を中心とした肝炎の疫学調査をおこなった。

第 1 編では岡山県下の 2 地区住民と安芸市地区の住民，および熊山町地区で 20 年来追跡調査をおこなっている 58 名を加えた合計 2,878 名について，HB_s 抗原，抗体の有無と肝機能検査をおこなった。その結果，HB_s 抗原の検出頻度は IEP 法で熊山町地区 1.4%，備前市地区 0.9%，安芸市地区 1.8% で，HB_s は PHA 法で，備前市地区 18.1%，安芸市地区 22.2% であり，3 地区の抗原，抗体それぞれの検出頻度は岡山県下一般供血者に比し有意差を認めなかった。しかし，過去の流行時の肝炎罹患歴を有する者の HB_s 抗原陽性の subtype は全例が adr で，ウイルス学的に B 型肝炎との関連で注目された。

第 2 編では第 1 編対象者の中から HB_s 抗原，抗体陽性者，肝機能異常者 450 名を選んで，HB_s 抗原，抗体，肝機能検査の 3 年間の追跡調査と，新たに蛍光抗体補体法による HB_c 抗体の検索を加えた。その結果，HB_s 抗原ならびに抗体持続陽性者は対照の安芸市地区に比して高かったが，年度毎の抗原ないしは抗体の検出頻度は低かった。また，HB_c 抗体は岡山県下の 2 地区の HB_s 抗原ならびに抗体陰性者に 93%，90% と対照の安芸市地区の 59% に比し高率であった。肝機能異常についてはアルコール多飲の対照地区が高かった。

以上の成績から熊山町地区，備前市地区に流行した約 20 年前の肝炎は B 型肝炎であったと考えられ，現在では同地区で HBV に地区全体が免疫され，新たに発生し難い状態で，かつ

過去に肝炎の既往歴のある人は潜在的に肝炎が持続している場合が多いと考えた。

論文審査の結果の要旨

本研究はウイルス性肝炎流行地におけるHB抗原陽性者の疫学及び臨床について研究したものであるが、従来十分確立されていなかったこの方面の知見に関し、種々重要な新知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。